

ネプチューンは希臘軍を助け、アポローは中立して時に一方を激勵す。而して大デュピタアは内心プライアムを愛するの情あれども力めて不偏の態を守る。

トロイの軍にてはアキリーズを怖るゝこと最も甚しかりしが、その船に退きて復た出でずと聞くや、直ちに城門を開いて希臘軍を逆襲し、一擧して之れを海岸に掩迫す。アガメンノン大いに困み諸將を集めて謀議す。ネストルは、アキリーズをして戦はしむるに如かずと痛論し、即ちアガメンノンをして彼の妾を返さしめ、且つ禮を調へてアキリーズに謝せしむ。アガメンノン之れに従ふ。ユリッシーズ、アチャックス等使たり。然れどもアキリーズの怒り尙解けず。翌日トロイ軍再び逆襲す。デュピタア隠に之れを助けしを以て鋒銚殆んど當るべからず、諸將連りに殺さる。ヘクトル等呐喊して海岸に迫り手にく、炬火を投じて希臘軍の船を焼かんとす。船の危きこと名狀すべからず。ネプチューン即ち希臘の士に變相

してトロイ軍を支へ、總かに塵殺を免る。

デュノーはデュピタアの密かにトロイ軍を助くるを察し、即ちギーナヌに請ひてその祕帯ヒュスを借り、之れを着けてデュピタアの傍に座す。ギーナヌの帯は神祕の力ありて見るものをして恍惚たらしむ。さる程にデュピタアは雲中にありて戦野を監視しけるが、不圖デュノーを見るより坐るに往年の戀を回起し、復た戦場の事を思念せず。かゝる間にもユリッシーズ、ネストル、ダイオミデース等皆負傷し希臘軍は愈々苦戦に陥りしかば、ネストルはアキリーズが無二の親友パトロクラス(Patroclus)をしてアキリーズを説かしめ、アキリーズの自ら出づる事なくばせめてパトロクラスをしてアキリーズの鎧を着けて戦場に現はれしめよと請ふ。アキリーズ之れを諾し、パトロクラスにその甲楯と戰車とを授けて出陣せしむ。戒めて曰く「戦克たんともトロイ人を深追ひすべからず」と。パトロクラス、アキリーズの鎧を着け踴躍して出づ。敵軍之れを望見して俄かに恐怖の色

あり、希臘軍はやゝ士氣を回復す。かくてバトロクラスは戰車を進めて連りに敵兵を殺す。デピタアの子サアピドン(Sarpidon)亦殺さる。バトロクラス克に乗じて猛進し、遂にヘクトルの戰車と衝突してヘクトルの爲めに殞さる。ヘクトルその鎧を剝ぎ、陣に歸りて之れを着く。蓋しアキリーズの鎧は天下無雙の名ありしを以てなり。

アキリーズは船にありてバトロクラスの死報を聞くや大いに悔恨して慟哭の聲千尋の水底に達しければ、母シーチス海上遙かに馳せ來りてその故を問ふ。アキリーズ具さに次第を語りこの悲歎を慰むるの道たゞ亡友の讐を復するにありと語る。シーチスさらばとて直ちにブルカンの工場に馳せ行き愛兒の爲めに無敵の甲冑を作らんことを懇請す。ブルカン之れを諾し、一夜にして製出す。眞鐵の楯あり、黄金の兜あり、胸鎧あり、脛甲あり、燦然として眼を眩せしめ、堅固なること以前のに幾倍す。アキリーズ大いに悦び之れを着して上陸し、先づアガメンノンに會見を

求めて其罪を責む。アガメンノン亦悔いて陳謝す。アキリーズ即ち諸將を率ゐて陣頭に顯はる。トロイ軍打たるゝ者數を知らず。ヘクトルはアポローの誡めに隨ひて常にアキリーズを避けしが、アポローは又ブライアムの一子に變相して、エニアスを激勵して對戦せしむ。エニアス即ち槍を投じてアキリーズの楯板二枚を傷つく。アキリーズ槍を投ぐれば槍はエニアスの楯を貫きてその肩を掠む。エニアスは楯を棄て、大石を投せんとし、アキリーズは劍を抜いて躍りかゝりしが、この時ネプチューン密雲を二人の間に下して之を引分く。アキリーズ敵を求むれども無し。即ち奮進して城堡に迫る。ブライアム城樓にありて士卒を指揮し、門を開いてトロイの敗走者を盡く城内に收容せしむ。されどもヘクトルは留まりて入らず。ブライアム使を遣はして召せども聽かず、死を決してアキリーズと戦はんとす。蓋し一人の敵を怖れて逃避せんに何の面目ありてトロイの子弟を見るべきと思ひてなり。然れどもアキ

リーズ戦車を驅りて猛進し来るその勢ひ雷電の頭上に落つるが如く、意はず駟車を轉じて逸走す。アキリーズは怨敵遁さじと砂煙を擧げて之を追ひ須臾にして城壁の外圍を三周す。時にアシーナ、ヘクトルの弟デーフォバス(Dephobus)の姿となりてヘクトルの側らに現はる。ヘクトル即ち勇氣を回復して向き直り槍を投ずれども距離遠くして槍は徒らに跳ねかへりぬ。ヘクトル急遽他の槍を取らんとしてデーフォバスを願れば既に影も無し。ヘクトル直ちにその運命を覺り、劍を抜いてアキリーズに向つて突進す。アキリーズは盾の蔭にありてヘクトルの近づくを待ち、勝手知りたるヘクトルが鎧の弱處を覘ひて一撃すれば、ヘクトルは重手に倒れつゝ、我が屍を父に送りてトロイ人に葬らせよと苦叫す。アキリーズは聽さず、そのまゝヘクトルが鎧を剝ぎ、足を戦車の後ろに縛して大地に引摺りつゝ、城壁の前面を往復す。之れを見たる老プライアム夫婦の悲歎は名説すべからず、今は危険を忘れて城外に馳せ出でんとする

を臣下に支へられて纒かに止みぬ。ヘクトルの妻アンドロマキイも凶報を聞いて驚き馳せ來りしが、一目見るより自ら城壁の下に投せんとしてその場に昏絶す。

さても希臘軍はアキリーズの捷利によりて軍勢を回復し、直ちに塚を造り壯麗なる式を以て彼のバトロクラスの屍を埋葬し、その夜は大饗宴を張りて勝軍を祝しぬ。然れどもアキリーズは獨り樂まず。尙ほ亡友の上を追恨しつゝ、曉に達す。而して悶々の情排するに由なく、明くれば又彼の戦車にヘクトルの屍を繋ぎてバトクラカスの塚を引き回り、遂に之れを塵土の中に委棄す。されどもヘクトルの屍はアポローの保護によりて毀損せず。デーピタアはアキリーズの母シーチスに命じて屍をトロイに返さん事をアキリーズに諭さしめ、一方には虹の神アイリスをして老王プライアムを勵ましてヘクトルの屍を贖はんが爲めに希臘の陣に赴かしむ。プライアム意を決し、明玉布帛の類を車に載せ一僕を従へて

城門を出づ。マアキリーその先導たり。かくて事無く諸營の間を過ぎてアキリーズの陣に來り、敵將の脚下に跪いて切に哀訴す。アキリーズは老いたるブライアムの姿を視るや郷國の父の事を憶ひて坐るに同情し、輒ち請を許してヘクトルの屍を上衣に包みてブライアムに渡さしむれば、ブライアムは泣いて悦び、直ちに之れを受けてトロイに歸る。城中の男女舉りて之れを迎へ、やがてあらん限りの莊嚴なる式を盡してヘクトルの屍をぞ葬りける。

『イリヤッド』はヘクトルの最期を以て終結す。アキリーズの悲しむその主題なれど、名を惜む兩軍古勇士の面目到る處に躍動し、取りわけヘクトルの義氣と恩愛と最もよく描かれたるを見る。而してトロイ城の陥落とその他の英雄の運命とは『オデッシー』以下の叙事詩に謳唱せらるゝ所のものなり。

トロイの陥落

ヘクトル戦死したれどもトロイの軍は諸國より新た

に有力なる援軍を得て城輒く陥らず。中にも女勇國アマゾンの王ベンセシリーヤ(Penthesilea)の如きはいたく希臘軍を惱まし多くの勇士を打取りしが、これも遂にアキリーズに殺されぬ。

是より先アキリーズ、ブライアムの女ポリクセナ(Polyxena)に懸想し、之れを得て以て兩軍講和せんと欲し、アポローの殿堂に於て商議せるに、この時パリス毒箭を放つてアキリーズを射る。この箭アポローの神助によりてアキリーズの左腿に中り、アキリーズ遂に死す。

ポリクセナに就いては異傳多し。ヘクトルの在世中にアキリーズ求婚せしもヘクトル之れを斥けしが、今又アポローの殿堂よりわりなく彼の女の姿を見んとしてこの奇禍にあひぬともいひ、又ポリクセナはアポローの殿堂にてアキリーズと婚し、その時アキリーズ殺されれば大いに悲みその墓に赴いて自告しぬとも傳へらる。

而してアキリーズの遺せる甲冑にはアデックスを始め熱望する者多か

りしが、母シーチスの意によりてユリッシーズ之れを得しかば、アヂキクスは失望して自殺しぬ。

かくて敵味方各々勇將を失ひて戦はいつ果つべしとも見えす。是に於てユリッシーズは往年の豫言を回想し、ハアキユリーズの弓を藏せるフィロクテテチースを彼のレムノスの島に訪ひて之れを従軍せしむ。フィロクテチース矢を放つて先づパリスを殛す。又トロイの城中に守護神像のあらん限り城は陥落せざるべきを思ひ、ユリッシーズまたダイオミジースと共に城内に潜行して之れを偷み、希臘の陣に安置す。さて最後に木馬の策を行ひて城遂に陥る。

木馬 この物語は以太利詩人ヴァジル (Vergil, B.C. 70—B. C. 19) が叙事詩『エニード』(“Aeneid”)の發端なり。

さて『も希臘の諸軍はユリッシーズの策に随ひ、おの／＼圍を解き陣を拂ひて遽かに船上に引き上げつゝ、本國さして航走すと見せて密かに近海の

島蔭に碇泊す。トロイの市民はかくとも知らず、大に悦び、城を出で、敵陣の跡を検するに、長さ數十尺に達する大なる木馬残れり。是れ希臘軍の策にして中には屈強の勇士數人を匿しおけるなり。トロイの市民はこの木馬を見て意を解する能はず、或は牽いて城内に歸らんとす。

こゝにトロイ方にてアポローに事ふる神官ラオコン (Laocoon) 駆け來りて押し止め、希臘人は誑詐多ければ油斷すべからずとて槍を投じて馬腹を刺すに、木馬は稍々呻きの聲を發せるが如し。折しも濱邊にて人々の語る聲あり、見ればトロイ人大勢一人の希臘人を縛し來れるなり。件の希臘人は怖れおのゝきつゝ、たゞ一命をば助けたまへと連りに乞ふ。人々之れを糺問するに、己れが名はサイノンといひ、ユリッシーズの悪意によりてたゞ一人此の地に殘しおかれしなり。木馬は希臘軍多年アシナ神に抵抗せし贖罪の意を以て造り女神に捧げしものにして、特にその形を大にせるはトロイ人をして城門の内に運び入れざらしめんが爲な

り」と語る。されどラオコーンは尙疑ひて止まず、連りにトロイ人を警戒せる折りしも、海の方より二疋の大蛇一直線に走せ來りてラオコーンとその二子とを巻き殺す。かゝればトロイの市民は畏れて以て神罰となし、即ち壯大なる式を行ひて木馬を城内に牽き歸り、直ちに祭禮を行ひて鬮宴す。

その夜三更に及び彼のサイノン木馬の中に合圖すれば、希臘の勇士は一時に現はれて城門を開き、連りに各處に火を放つ。希臘の全軍は夜に入りて密かに上陸し、火を望むや俄かに呐喊して襲撃す。城兵は度を失ひて支ふる能はず、ブライアムはアキリーズの子に殺され、ヘレンは希臘軍に獲られ、エニアスは父と妻と一子とを連れて海上に遁走し、其他の勇士は或は戦歿し、或は俘虜となりて、さしも聞えしトロイの城市も於是遂に焼土と化しぬ。

因に云、希臘軍は凱旋の途上暴風に遭ひて四散し、それらの運命に遭遇す。

メネレウスは再びヘレンを獲て罪を問はず、ヘレンまた恥を忘れてメネレウスに従ひしを以て、諸神の賤みを受けて各地に漂泛すること八年、纒かにスパルタに歸りて幾程もなく死歿す。アガメンノンは遠征中その妻を従弟某に奪はれ、歸國の日奸夫の爲めに殺さる。アガメンノンの子オレスチス(Orestes)が父の仇を報いて實母とその奸夫とを殺せし事蹟は屢々悲劇の題材とせらる。ダイオミダリス亦たアガメンノンと同様の運命に陥り、國を走りて客地に死す。ネストルは言行最も謹直なりしを以て無事郷國に歸り、名と徳と壽とを重ねて幸福の生涯を造る。而してユリッシーズの漂泊とエニアスの冒險とは「オダッシー」及び「エニード」の主題にして、一は希臘神話の終尾をなし、一は羅馬神話に接続す。

ユリッシーズの漂泊 トロイ陥りて後ちユリッシーズはその部下を率ゐ、船數隻を調へて本國イサカに向つて航す。既にして大暴風に遭ひ多島海のあたりを漂泛すると九日にして所謂食蓮人ロトベリヤスの孤島に着す。此處は實に恐るべき昏醉境にして、ユリッシーズの部下數人は島人に勧められて

逆を食ひ、半睡半醒の状に陥りて本國をも忘れしが、ユリッシーズは早く覺りて之れを脱し、次ぎにはサイクロロピーズの蠻島に漂泊す。サイクロロピーズは隻眼の巨魔にして洞窟に住む。ユリッシーズ食を求めんとし部下と共にこの島に上りしに、案内知らずして件の洞窟に入り巨魔の爲めに拘囚せられて日毎に二人づゝ取り食はれしが、智術を用ひて危く免れ、殘る部下と共に辛うじて海上に航出す。かくて數日の後ち風神エオラス(Eolus)の島に来るエオラスは一行を歡待し、出帆に際して順風を與へ、且つ反對の風を封じたる革囊をユリッシーズに渡しぬ。囊は白銀の線を以て之れを結縛せり。誠めて曰く「爾本國に歸着せん日までは此の囊を開くべからず」と。ユリッシーズ之れを受けて船に乗り、快風に追はれて駛行すること九日九夜、而も無智なる部下の過つてこの囊を破らんことを恐れ、晝夜眠らずして之れを護りけるが、十日目の曉疲れに堪へずしてまどろみたる隙に、かねて此の囊を恠みし士卒等が密に彼の紐を解きけ

るに、那の時早く疾風一時に囊の中より起りて、浪荒れ空くらみて船は見ると、逆進し、もとの島へと吹きつけらる。されどエオラス再びユリッシーズを助けざれば、一行は止むを得ず破れし櫓槳を用ひて又も大海に漕ぎ出でぬ。然るにレストリゴニャンズと呼ぶ蠻族の島にて忽ち恐るべき襲撃に遭ひ船は大方覆没しユリッシーズの本船のみ纔かに難を免れて數十日にして一島を發見す。こゝは日神の女サアシー(Circé)の住へる島なり。ユリッシーズ例の如く部下を上陸せしめて案内を探らしむるに、部下は皆サアシーの魔術にかけられて豕の屬となる。ユリッシーズはマアキュリーの神助によりてサアシーの術を摧き、彼の部下をも取回して此島に遊樂すると數日、殆んど歸志を忘れんとす。然れども幸に部下の之れを促すありて俄かに船を調へて出發す。サアシーは之れを助け、且つ行く先々の海上に就いて具さに警告す。蓋しこれより數十里の北にサイリオンズと呼ぶ三人のニムフの住める一島あり、危険中の最も危険

なるをこの海上となす。サイリオンズは極めて歌を善くし、船人航海中に其の歌を聴けば、心いつしか恍惚となり我れを忘れて海中に投入するに至る。さればサアシーはユリッシーズに告げて部下の耳には蠟を詰めさせ、己れは帆橋に縛せられて航過すべしと教ふ。ユリッシーズ之れに従ひ、残る所無く警戒して行くにやがて彼の小島のほとりに出づ。彼は平らかにして碧樹の色を浮べ、吹きくる島風冷やかに面を撫づると見れば、水を渡りていづこともなく歌唱の聲聞こゆ。船の行くに連れて歌は次第に近く、聲は哀々として心緒をほぐすが如く、又切々として客情に訴ふるが如く、堪へんとするに堪へられず、抗せんと欲して遂に抗すべからず。水夫は只漕ぎに漕ぎ行けどもユリッシーズは身をもだえて連りに海中に飛び入らんとす。されど、身は固く帆橋に縛せられたれば叶はず、船は程なく此の沖を航過してニムフの歌徴かになると共にユリッシーズは漸く我れに復りぬ。サイリオンズの一人バアセノビー(Parthenope)は己が歌に

て一人をも得る能はざりしを愧ぢ自ら海に投じて死す。その屍以太利の濱に漂着せるを以てそこをサイリオンズと呼びぬ。今ネーブルスの在る處是れなりと。

それよりシルラ(Sylla)とて頭六つある女怪の島、カリブデス(Charibdis)とて大海に渦を起して人を取食ふ人魚の如き怪物の棲める難處をも過ぎて部下の數人を失ひ、遂にスリナシャといふ島に寄泊せしに、水夫の者共日神の羊を殺したるを以て、神罰によりて海上やがて雷電暴雨に遭ひて船は破れ人は悉く溺歿す。ユリッシーズ獨り木材に取附きて遂にカリブソの島に漂着しぬ。カリブソ(Calypsos)は海のニムフにしてユリッシーズをいたはり助けしが又深く慕ひて永く此の島に留まり給は、不死の薬を參らせんといふ。されどユリッシーズは郷國を想ひて應せず。カリブソ即ち百方術を盡して引留ける程に、早くも七年の星霜を経てカリブソ二子をまうく。デビアタ今はとてマアキュリーを遣してニムフを

諭さしむ。かゝれば遂にカリブーンもせん方なく筏を造るべき木材を
 與へ、食物數多積み込ませてユリッシーズを出發せしむ。然るに數日にし
 て又もや暴風起り、筏はばらばらに壊れしが海のニムフ、リユーコシャ(Nimph, Lycosha)
(Cohen)とマアキュリーとに助けられて泳ぎくつゝ辛うじてとある大島
 の濱邊に辿り着きぬ。寒けれども衣無く飢ゑたれども食も無ければ、間
 近き森に入りて落葉を掻き集め寢床を造りて寐入りぬ。こゝはシーリ
 ヤ(Selertia)といふ島にて、彼のサイクロロビーズに逐はれたる一民族こゝ
 に遁れてネブチーンの子ナウシスといふを王として住せる處なり。
 島は極めて殷富にして民族皆知識あり、その生活殆んど神に似たり。
 時昔の夜王女奇夢を感ず。アシーナ王女の枕邊に現れ、示して曰く、「爾
 が婚姻の日は近きにあらん。爾その前に川邊に行きて一族の衣を辭が
 ざるべからず」と。王女覺めて之れを父に告げ、衣數多を車に積みて森の
 中なる河邊に運ばせ侍女と共に之れを洗ふ。かくてユリッシーズを見て

相語り衣を與へて王宮を訪れしむ。ユリッシーズ悦びアシーナ神に導か
 れて壯麗なる王宮を訪へば、王は賓客と會宴中なりしがユリッシーズを歡
 待し、歸國の船を與へんと約す。翌日島中に競技の大會あり、ユリッシーズ
 また挑まれて環珠を投せしにその技諸勇士の上に出で島民歎賞して措
 かず。競技はてゝ盲樂師琴を弾じつゝ叙事詩を歌ふ。詩はトロイ城外
 木馬の一齣にして、悲壯の調べ神に入り、ユリッシーズ落涙滂沱たり。王は
 見るより怪しみその故を問ふに、ユリッシーズ包まずその身の來歴を物語
 りければ、聞くもの愈々感歎す。それより王の命令にて出發の船を調べ、
 王の發議によりて島民おのゝユリッシーズに餞別す。かくて船は順風
 に送られて出帆し、數日にして本國イサカの島に着きぬ。
 ユリッシーズ異境にあること十八年にしてイサカに歸りしが、時を移さず
 アシーナ神の牧童となりて島内の事どもユリッシーズに物語るを聞けば、
 島内及び近島の貴族百餘人、ユリッシーズの長く歸らざるは客地に死歿せ

るに定まりぬとおのがじ、王宮に入りては后ペネロピーに慰勸を求め、はては王宮をも島をも己がまゝに横領して憚らずとなり。ペネロピーはスバルタ王チンダリユスの弟イケリヤスの女にして、心の美しきこと姿色の双び無きが如くなりければ、ユリッシーズは數多の競争者に勝ちて遂に之れを得たりしなり。されどペネロピー新郎に従ひてイサカに行かんとするとき、父イケリヤスは之れを止めて尙スバルタにあらしめんとす。ユリッシーズ妻に向ひて、父に従ふか己れに従ふか心のまゝに擇ぶ所あれといふに、ペネロピーは首を俛れ、ゾールを被ぎて物言はず。かゝれば父もその意を察してユリッシーズに隨ふを許し、伴の跡にはいみじき彫刻師をして、^{モリスチ}温淑の石像を作らせて記念とす。かくてユリッシーズ夫婦はイサカの島にて楽しく一年餘を暮らし、一子テレマカスを擧げしが折しもトロイの戦起りてユリッシーズは遂に従軍す。さて十年の長戦は果てたれどもユリッシーズ尙久しく歸らざるを以て、島内の殿原立かはり

入かはり日毎に王宮に來りてペネロピーが後の夫とならんと迫ること數年に及ぶ。ペネロピーはとかう言ひ逃れて日を延べつゝ、只管ユリッシーズの消息を待てども無し。さらば夫が父の葬はなの天蓋編まんその間の猶豫をとて、晝は針持つまねしつゝ、夜に入ればたゞ之を擱きぬ。ユリッシーズ斯くと一伍一什を聞きて驚き怒り、直ちに殿原を誅せんと欲せしが、不意に王宮に入りて一時に塵にするに如かずとて、アシーナ神の助けにより乞食の姿となりて王宮さして歩み行きぬ。時に宮廷の牧者ユーミヤス彼れを見て主の王とも知らず懇ろにいたはりて親しく案内す。是より先ユリッシーズの子テレマカス十餘歳となりしが父の安否を尋ねんとて單身希臘の本土に航し、トロイの戰場より凱旋せる諸勇士のがり遍歴して尋ねること數年に及べども一人としてその生死を知るもの無し。やがてアシーナ神に諭されてイサカに歸りしに、牧者ユーミヤスが見慣れぬ乞食と共に歩むを見て呼びかけ仔細を問

へば、この程海上の暴風によりて漂着せる翁なりといふ。ともかくも王子の歸島せる由を殿原に曉られなばその命も危からんと思はれければ、ユーミヤスは先づ後に之れを告げんとて走り行きぬ。あとにユリッシーズはアシーナの暗示によりて繚縷をぬぎ棄て、もとの姿になりつゝその名を名乗りて我子に對面す。テレマカスは父に取りつきて喜び泣けば、ユリッシーズも我子の健氣に生ひ立ちたるを見て今昔の感に堪へず。さて再び乞食の姿に假裝し、父子相伴うて王宮に入る。彼の憎むべき殿原を塵にせてだてこの數刻にありとて、父はわざとその子と引離れ、宮中にては我れと物言ふべからず、又如何なる愛目を我れ見んとも決して我れを救はんとはすべからずと誡めて、各々内へと入り行きぬ。

ユリッシーズ旅乞食となりて門に入れる折しも、庭内に臥せる老犬は見るより忽ち駆け來り、尾を掉り躍り上りて喜ぶこと限り無し、こはアアガストと往時ユリッシーズの屢々獵に連れたる愛犬なり。さてそれより廣間

へと導かれしが、噂に違はず島内の殿原けふも盡く集りて鬨宴し、歌ひ詠る聲露々たり。而して若者の一人は旅乞食を見るより之れを弄謔し、はては椅子を擧げて毆打せしが、テレマカスは誡めを思ひて得救はず。兎角して旅乞食も同席を許され、老女來りてその足を洗ふに、先いつ年猪に嚙まれたる癢痕あるを見て驚き悟り、そのまゝ後に告げんとするを、ユリッシーズ辛うじて之れを制す。

ペネロピーは彼の天蓋も編みはてたれば、今は殿原の迫るを遁れんすべも無く、遂にユリッシーズの剛弓と征矢とを取り出し、この弓矢にて十二個の指環の孔を射通したらん人にその身を従ふべしといふ。さはあれ闘争の危険無しとも限らねば競技の場合には寸鐵をも帶すべからずとテレマカス發議し、準備形の如く調ひて若者一人々々件の弓を張らんと試むれども、弓は黒金の柱の如く曲げんとするに少しも曲らず。ユリッシーズは最後に進み出で、我れは旅の乞食なれども、若き時には兵兒の數にも

入りし覺えあれば、試みにその弓を引かしたまへ」と請ふ。若者の數人無禮なりとて斥けんとするを、テレマカスなだめて之れを許す。ユリッシーズは難なく弦押し張り、矢を番へて的を射る。かくて若者の驚く貌を見やりつゝ、いで次の的をと二の矢を番ひて彼の狼藉なる若者を射殺しつ。素破といふまにテレマカス、ユーミヤス等隠せる劍を抜きてユリッシーズに加勢すれば、ユリッシーズは盤纏をぬぎすて大聲にその名を名乗り、さしつめ引きつめ若者を射るに手に應じて皆殞れぬ。逃れ出でんにも四門皆鎖ぢたり。若者は或は降伏し、或は誅せられて了りぬ。后ペネロピーは十八年の苦節のかひありしを喜び、夫と我兒とに對面して、互に艱難の物語を交換し、一族島民も相率ゐて來り集り、各々聲々に王家の再會を祝す。

此の叙事詩數百年の昔夙く我が國にも傳はり神官の手に翻案せられて「百合若大臣」の傳説となれること坪内博士の考證によりて明らかとなりぬ。(早稲

田文學第一號参照)

エニヤスの冒険

こはプアシルの叙事詩「エニード」の主題にして、事はトロイ戦争の後日譚に過ぎずと雖も、意味に於てはラテン民族の理想を謳歌せるもの以外ならず。而して事傳直ちに希臘の英雄神話に接続して羅馬神話の領域に屬すれども、便宜の爲め希臘神話の總收として叙説すべし。エニヤスが冥府に入りて諸靈にあふの一齣は、宗教として希臘時代よりも一步を進めたるものと觀るを得べく、又彼のダンテが「神曲」と比照して極めて興味ありと稱せらる。

トロイ陥落の夜エニヤスは老父アンキシーズ (Anchises) を肩に載せ、妻と一子とを引連れて天を焦す城火を後に程隔てたる一地方まで逃げ行きしが、危難と混亂の途上に於て妻は竟に行衛を知らず。そこにはトロイの逃亡者男女あまたの既に落ち來れるありて、直ちにエニヤスを首長に

推戴し、何れの地へも導きたまへと請ふ。エニヤス之れを諾し、數月にして準備大方整ひければ、即ち數隻の船に乗りて西方の海上へと漕ぎ出でぬ。

海は平らかにして程なくスレーヌ(Thrace)——土耳其の南部の地に着く。

一行はそこに殖民せんとて上陸しけるに不思議の事あり、エニヤス犠牲を屠り之れを焼かんとて樹枝を折るに、枝の折口より鮮血滴り落ち、樹は聲を揚げて「我れをな傷けそ、エニヤスよ。我れは汝が一族ポリドルなり。我れは此處にて多くの矢を受けて地に仆れ、その矢皆樹木となり、我が血を以て之れを養へり」と叫ぶ。ポリドルはトロイの公子にして、戦難を怖れ數多の財寶を齎して此のスレーヌの地に來れりしが、王の爲めに攻められて寶と命とを奪はれしなり。かゝる不祥の土地なればエニヤス等は去つて「再び海上に出で、次にはデーロスの島に着く。」

こゝにて、エニヤス、アポローの神託を請ふに宣して曰はく「爾が故き母を

求めよ、他の民族を掃ひてその地に住めよと。而して老父はその祖先のクリート島より移住せし由を聞きしことあればとて、即ちクリートに向つて航行す。かくて、着くや直ちに上陸し、土地を開いて穀種を蒔き、地を選んで市府を建造せんとしけるに、疫病俄かに起りて人々相次いで斃れ、穀物も皆凋萎しぬ。且つエニヤスが夢の告にもヘスベリヤに往けとありければ、又も船を出して西海遙かに航進す。ヘスベリヤ(Hesperia)は即ち以太利にしてトロイ人の遠祖ダダナスの一度住せし處なり。かくて航行の途上ハアビーズの島にては怪禽の爲めに驚かされ、エバイラスの地にては圖らざるも同國人の一團と故ヘクトルの妻とに遭ひて航海の便宜を得、サイクロロビーズの島にては彼の巨魔の爲めに危く捕へられんとして纒かに免れ、ユリッシーズの一行が難を蒙りしシラ及カリプデスの海をも無事に過ぎてやがて以太利の本土に近づきしに、忽ちデューノイ神の舊怨によりて暴風に遭ひ、遂に南方へと吹き流さる。蓋しデューノイ

はパリスの事ありて以來トロイ人を憎むこと甚しく、トロイ滅亡して一族漂泛の今尙ほ之れを宥めんと欲して風伯エオオラスに命じてポレアス、ダイブーン等の諸子と共に海上を奔行せしめける程に、風浪俄かに起りて船は忽ち四散しぬ。されどネプチューンの救ひによりてエニヤスが一船は辛うじて亞弗利加の北岸カアセイジの濱に漂着す。

カアセイジ (Carthago) はシ、リー島の對岸にある一市府にして、後年羅馬と海上の覇權を争ひしは是れなり。女王ダイドール (Dido) 之れを領知す。ダイドールはもと小亞細亞フィニシヤ地方の國王ビラス (Belus) の王女にして、父の歿後兄ビグマリオン王位を嗣ぎ、ダイドールはサイケヤス (Sichens) といふを夫とせしが、サイケヤス財多かりしを以てビグマリオン苛求して措かず、遂にサイケヤスをして死に至らしむ。於是ダイドールは夫の遺産と市民若干とを率ゐて亞弗利加に逃れこのカアセイジの地に殖民して市府を開きしなり。かゝればエニヤスの漂着せるときその來歴を聞

いて同情すること大方ならず、市民に令して一行を款待せしむ。而して自らエニヤスに戀着し、エニヤス亦た女王の懇勸に報いける程に、日月束の間に過ぎて爰きに彼の暴風に離散せし船も追々來り集まりけれど、エニヤスは以太利に航するの初志をも打忘れ、市府と家と妻とあるこのカアセイジの一邦を永久の郷土とせんと思ひなりぬ。デビタアの大神之を見、即ちマアキュリーを遣はしてエニヤスを誡め尙ほ重大なる事功あるを覺らしむ。エニヤス乃ち意を決し衆を率ゐて再び出發す。ダイドールは別を悲しみ百方止めたれどもかひなく、失望に迫りてエニヤスの船を見送りつゝ、遂に自焚して死しぬ。

エニヤス北に向ひて航せる時、ギーナスはデノールの又も妨をなさんて虞れ、海神ネプチューンを訪ひてトロイの一族を水底に葬ることなからんとを懇請す。ネプチューン一行中より一人の犠牲を受くべしと約して之れを諾す。而してパリスニエラス (Palinurus) といふ按針之れに當りぬ。夜は更

け行けどバリニューラスは獨り眠らず、舵機を取り開天の星を視望しつゝ、船を進めけるに、眠の神密かに之れに近づきて曰ふ、バリニューラスよ、風は穏やかなり、海も平らかなり。船は帆によりてその正路を駛行せり。暫し眠りて疲れを休めずや。我れその間代るべし。いへどバリニューラスは頭を掉り、我れにな言ひそ、海の平らなるとも風の穏やかなるとも。我れは幾度か海にも風にも欺かれたり。時の間もエニヤスを彼等に任すことを得んや」とて霎時、その座を離れざりしが、眠の神手にせる小枝を露に濕して、按針が頭の上のうちふるに、バリニューラスいつしか居眠りするをそのまゝ海へと押し落しつ。されども船はネプチューンに護られたれば針路を錯らす。曉方以太利の陸へと駛せ着きぬ。エニヤス目覺めて、バリニューラスのあらざるを知り驚き悲むこと限り無し。

さて以太利の地に上陸するや部下を殘して獨り巫女(The Sibyl)の洞窟を訪ひてアポローの神宣を請ふに、巫女いふ、難きに屈すべからず、たゞ奮つ

て前進せよ」と。而してその夜の夢に再び神宣あり曰く、とく冥府の下に赴き、父アンキシーズをたづねてトロイ人が未來の運命を聞くべしと。蓋しエニヤスの父アンキシーズは一行と共に各處に漂泊せしが、巖きにシ、リー島に繫留せし時八十歳を以て歿したりしなり。エニヤス覺めて之れを巫女に諮るに、巫女答へて曰く、冥府に赴かんは極めて易し、彼處の門は晝夜開けり。されどそこに入りて歸り來らんは容易ならず。この森の中に黄金の枝ある樹一株あり、その枝を折りて冥府の後プロサアピンに贈るべしと教ふ。エニヤス大いに悦び、黄金の枝を求む。ギーナス二羽の鶴を飛ばせて伴の樹にエニヤスを導きければエニヤス即ち之れを折り取りて巫女に示し、いざ冥府に入るの路を告げよと請ふ。

『エニード』に説ける冥府の入口とは彼のエシューギヤスの火山地方にして、舊き火坑の跡と見ゆる怖ろしき谿谷の底にあり。赤き崑床と無底の罅裂と相錯峙し、毒硫の氣盛んに騰上せり。アヴァナスといふ湖水の水絶

えず之れに注げども満つること無し。アプアナスは殺生湖の義にして魚蟲少しも棲息せず、鳥も怖れて此の上を飛ばすといふ。エニヤスコにて幽府の諸神に犠牲を捧ぐる時、地底の方に物凄き響聞こえて、崑上の枯木自ら震蕩す。巫女いざとばかり先導して闇々たる豎坑の中に入り行けば、エニヤスコも之れに従ひ下降す。暫くはたゞ闇夜の如き中を迎れるが、幽府の境域や、間近になるにつれて、あやしく物凄き叫喚の聲遠く近くに聞こえて、「悲愁」「疾病」「老衰」「恐怖」「飢渴」「辛勞」「貧瘠」などいふ諸靈の影かなたこなたに徂き徠ふを見る。而してフエリーズ、ヂスコルド、ハイドラなど此の地の悪靈を始め、カイミーラス(Chimera)とて火を吐く怪物、隙もあらば襲ひかゝらんとす。エニヤスコは劍を抜いて斬りつけんとするを巫女は嚴に之れを制す。かくて黒河の睡に出づ。

河よりかなたは冥界の本土にして岸にはケイロンといふ老舟夫ありて死靈を渡せり。死靈の來集すること風に追はるゝ木の葉に異らず。カ

イロンは見るや即ち或は船に搭乗せしめ、或は之れを拒斥す。エニヤスコ怪みてその故を問へば巫女、それは死して葬られしものと然らざるものもあるに由る。その屍葬られずして此處に來れる者は百年の間河のこなたにて彷徨せざるべからずと語る。エニヤスコ聞いて彼の航海中に死せるトロイ人の果てを慰みつゝ、彼の舟に乗らんとせる折しも、按針パリニユーラスの影目の前にあり。エニヤスコを見るや連りに手を振りて彼方の岸に伴はんことを請ふ。されど幽府の法なればとて巫女許さねば、エニヤスコは制して、その屍もやがて葬らるゝに至るべく其處の岬をばパリニユーラスの岬と呼ぶすべければとて之れを慰め、ケイロンには齎せる黄金の枝を示して舟を渡さしめて彼方の岸に達す。

黒河に接せる一地域は冥府の第一界にして東西を知らざる嬰兒の泣聲響しく又哀れなり。次は冤罪によりて死せる諸靈の地にして判官マイノス罪の實否と輕重とを定めて各その位置に就かしむ。第三界は苦辱

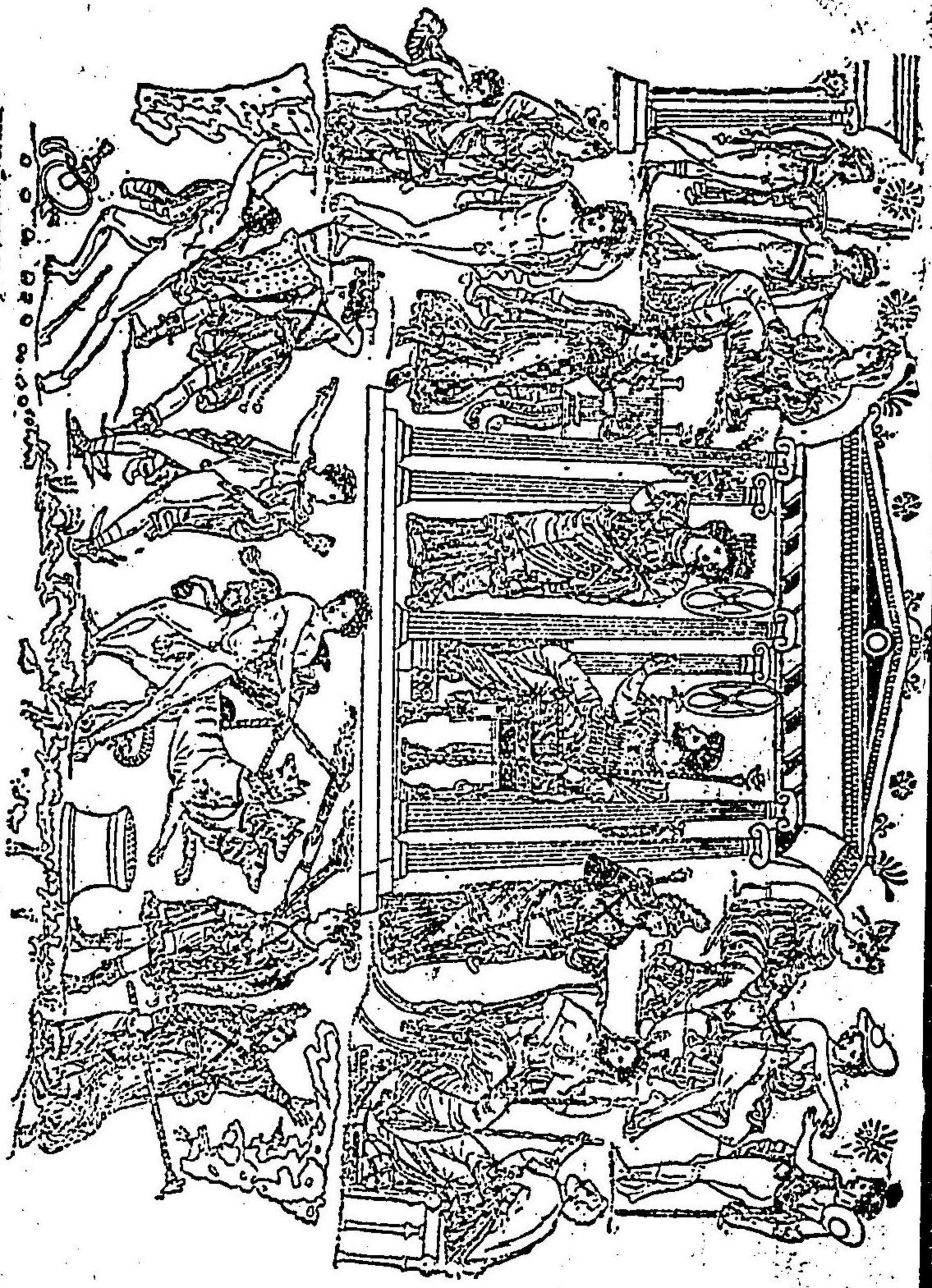
を免れんが爲めに自殺せるもの之れに居り、之れに隣りて又痛悲の地あり、愛を失ひて絶望の下に死せる諸靈幽在す。死して尙痛苦を免るゝ能はざるは實にこの靈なり。されば死しぬと聞きし彼のカーセイジの女王ダイドーなど或はこゝにあらすやと胸ふさがりて歩めるに、果して女王が白衣の姿淡く杳かに現はる。エニヤスはらくと涙を落しつゝいふ、いたはしき哉ダイドー、仄かに聞きし御身が自害は誠なりしか。あゝそは我が故なり。我れカーセイジを去るを欲せざりしは諸神之れを知ろしめしき。我れはデョーヴの命によりて出發しぬ。而も我れ去りて御身にさばかりの悲痛あらんとは知らざりしなり。止まれよ、たゞ我れに永別を許せよ。」いふに女王の靈は黙して地を見つめたるまゝ暫し立ち止まりてやがて弱々と歩み行きぬ。エニヤス堪へかねて追ひ行かんとするを巫女は強ちに引き止む。

第五界は戰場にて闘死せる勇士の彷徨する處にしてエニヤスこゝに入

るや希臘軍の戦死者は彼れが武装のいかめしきを見て逃避し、トロイの戦士は喜び來集して其後の物語を請ふ。エニヤスも久しき戦友に對面して物語果てし無ければ、巫女は急にエニヤスを拉して第六界に下る。路は中央より二分して一は冥界の自由境たる「イリシューム」に、一は判官ラダマンサスの廳に通ず。金剛崗に取り着けたる鐵門ありて「フーリーズ」之を成る。黄銅の扉を閉づる音、鐵鎖の鳴る音怖ろしく、扉よりあなたは「ヂュピター」を始め諸神に對抗せる最大重罪の者を拘禁する處にして彼の「タイタン」族の諸靈多くあり。中にも「タイチアス」といふ巨神の如きは身の丈數十ヤードの長身を盤石の上に横へて呻吟せり。父母姻親を殺せるもの、友を陥れしもの、國を賣れるもの、法を曲げしもの、婚約を破棄せるものなど齊しく極悪重罪としてこの圈内にて苦罰を受く。或者は卓に就きて食物を口に運べば「フーリーズ」來りて一々之れを奪ふ。或者は居處の上に大石の懸垂して今にも落ち來るべき勢に恐怖の絶間なし。彼

のタンタラスの如きは池中に立たしめられてあるに、渴すること甚しく、水は首のあたりまであれば飲まんとするに、水はおのづから退きて遂に乾泥となる。又頭の上には大きな樹の枝低くさし出で、味よき果物熟して垂れたれども、手を舉げて取らんとすれば枝はおのづから上向きぬ。

エニヤスの父アンキシトズは何れの界にもあらざれば、巫女はエニヤスを促して易樂界(Elysium)へと上り行きぬ。こゝは諸獄の如く暗からず、風いと爽やかにして物の色皆淡紫の光に包まれたる別境なり。太陽も星もこゝには別にあり。諸靈はおのがじ、或は武技をなし、或は歌ひ、或は舞ひ踊りつゝ優遊せり。トロイの祖先もあり。希臘の勇士もあり、ありし戦場の楯も兜も槍も皆地上に整列して燦爛たれども今は用ふる者も無し。かたへには桂の林あり、林の中より清冽の水流れ出づ。これボイ河の源をなすと傳へらる。すべてこの易樂界にあるは國事に殉せる



一五 後のミーモーン

MEDEA AND HER SONS, OVERTHROWN BY HER OWN SWORDS. PHALGON AND HIS WIFE, CHASTISED BY HERONS. THE FATE OF THE TROJAN PRINCES, AND THE DEATH OF HELEN. THE FATE OF THE TROJAN PRINCES, AND THE DEATH OF HELEN.

諸勇士清き僧侶名ありし詩人等神と人との功ありし男女にして、一群の中に絶えず微妙の樂を奏せるは彼のオルフェーズなり。巫女アンキシーズは何處ぞと問ふに、彼方の草の上と答ふ。見れば一株茂れる樹の下なる緑の草に安座して只管靜思に耽れる様なりしが、エニヤスの近づき來るを見るより諸手を舉げてうち招き、やよエニヤスカ、汝を待つこと久しかりき。汝が海上にある時我れいかばかり心を悩ませしぞといふ。エニヤスも悦びに堪へず、おゝ父上、その海上にて御身は常に我れを導き我れを護りたまひしなり」とて驅け寄りて抱きつけば、アンキシーズはたゞ影にして實體なし。

さてエニヤス等の脚下には今まで見ざりし廣き谿谷あり、新樹の枝はゆるく波うち、緑の草はつややかなる細を布けり。リースと(Lotos)と呼べる、一川滌々として奔流す。而も此の川のあなたこなたには幾百千と數へ難き群衆ありて代るく河水を掬す。エニヤス異みて之れを問へ

ば父は答ふるやう、そは無數の靈にして、彼等は時を待つてそれらの體を附與せらる。彼等リースの河水を飲めば忽ちに前世の事を忘れて又明界に出づるを得と。エニヤス重ねて問ふ、さばあれ父よ、誰れか一度かゝる靜安の境に來りて復た喧擾と憂苦との明界に生れ出づるを願ふべきぞ。といふに、アンキシーズ點首き、さればなり、そは大造化の法なれば思議に及ばず。いで、つばらに教へん。太初に造物の神あらゆる生類の靈魂となるべき「原質」を造りたまふ。この「原質」は火、風、水、土の「四元」より成り、四元合する時はその中の最高等なる火に歸一す、「炎」是れなり。さて「原質」は無數に切られて種子の如くに大空に撒布せらるゝに及び、造物神の次級にある諸神此の「原質」を種に多少の土を加へて人間を始め一切の衆生を造成す。土を加ふるの量多き程劣等の生物となる。男にもあれ女にもあれ地上にあること長きに隨ひて小兒の時代の醇清と無邪とを失ふはこの理による。所詮生は靈と土との混合なり。この混合は死後に於て

分析洗淨せられざるべからず。或は風氣の透流によりて、或は水中の滯溜によりて、又或は火炎の燒熱によりてそれ等不純の雜物は盡く除却せらる。かくて醇清なる『原質』に回れば復び明界に生を享けざるべからざるが故に、その時彼のリースの忘水を飲みて前世の事を忘却す。風と水と火とを以てして尙ほその不純物を全掃する能はざるの靈は、遂に輪廻して下等の生物に轉生す。

アンキシーズ斯く教へつゝ、さて以太利に移住せるトロイ人につきて具さにその未來を語る。而してエニヤスに向ひてはその遂行すべき大任務を説き示し、挑戦せられ、戦闘し、妻を娶り、トロイ人の新市府を開き、久しからずして世界を征服すべき大運命に向へることを豫言す。

エニヤス遂一に聽いて覺悟を定め、父に別れて再び明界に歸る。而して此度の冒險全くこの巫女の力に由るが故に、巫女シビルの爲めに大殿堂を造りて厚く之れを奉仕せんとし、彼の巫女、我れはアポローに仕へて神惠

を受くるを以て足れりとするが故に如何なる殿堂も欲しからず。我れは既に七百載を生きたり。尙ほ三百載の生あらん。されど身體は近く凋落すべきを以て、たゞ聲となりて我が洞窟に残り、我が言の聖なるを示さん」といひつゝ、やがて消え去りぬ。

建國

エニヤスはそれよりトロイ人を率ゐる以太利の西岸に沿うて北航し、タイバア河の河口に來りて即ち上陸す。こゝぞ一族が故郷となるべき地ならんとて、百人の勇士を選び、贈物あまた持たせてそこなる國王に和親を求めしむ。時しもタイバア一帯の地はサタアン神の遠孫ラチナス(Latinus)の王國なりしが、ラチナス男子なく、ラギニヤ(Lavinia)といふ王女あり、遠近の貴公子争つて婚を求む。中にもルーテリウスの王子タアナス(Turnus)は勇を以てラチナスにも愛せられけれど、ラチナス一夜の夢に、王女ラギニヤの夫は他郷より渡來すべく、兩家の和合によりて、一大邦國を成さんとありければ、約婚の事遽かに遷延して決せず。於是トロイ人

の使者来るや大いに之れを款待し、各々馬を與へて送り歸らしむ。然るに女神デューノーはこの有様を見るより嫉みに堪へず、やがて事を設けて兩種族の間に避くべからざる鬭争を生せしめ、鬭争をして遂に宣戦に至らしむ。

こゝにラテン人(以本利人)の神にヂューヌス(Janus)といふあり。天門を守る大神にして事の終始を善くすることを司る。ラテン人は戦毎にヂューヌス神殿の扉を開いて宣戦するを例とす。而も王ラチナス之れを爲すを肯せざりければ、デューノー即ち自ら之れを開きて大いに國人を煽動す。タアナス推されて將となり、ミゼンシューズといふ勇猛の士部下を率ゐて之れに加はる。而してアマゾンの女王カミラ(Camilla)も一隊の女軍を以て來り助く。エニヤスは不意の戦にて衆寡もとより敵せざりしが、その夜タイバアの河神閨中に聲を潜めていふ、我れを溯りて行け、斂哩にして汝に同盟すべき王あらん。エブングアの名をな忘れんと。エニヤス之れ

に従ひ黎明タイバア河を溯りてタアナスの舊敵エブングア父子と會見す。エブングアはもと希臘のアアカチャより移り來れるものなるが情を聞いて直いて直ちにエニヤスと同盟を約し、尙ほ近傍にて有力なるエトラスカンを味方とすべしとて一子パラス(Pallas)をエニヤスに添へて遣送す。

さる程にタアナスの軍はデューノーの暗示によりてエニヤスの不在に乗じてトロイの軍に挑戦せしむ。されどもトロイ人はエニヤスの誠めを守りて出でて戦はず。兎角して急をエニヤスに報せんと欲すれども能はず。ナイサス、ユーリヤスの二少年自らその任に當り夜に入りて敵營をくさりて進みしが遂に發見せられて殺されぬ。エニヤスは同盟を得て軍勢を張り、直ちにタアナスの軍と對戦す。タアナスの猛將ミゼンシューズは當るに任せてトロイの卒を殺せしが、遂にエニヤスと鬭ひて傷けらる。ミゼンシューズの子ラウサス父を救ひて之れに死す。エニヤス憐み

てその屍を敵軍に送る。ミゼンシューズかくと聞くや大いに怒り傷を洗ひて再び出戦し、エニヤスを周りに馬を乗りまはしつゝ短槍を投ずること雨の如し。エニヤス楯もて之れを防ぎつゝ重槍を投げてミゼンシューズの馬を登す。ミゼンシューズ次いで殺さる。而してトロイの軍にても彼のバラスは敵將タアナスと戦つて殺されしが、タアナスはバラスが帯の金飾せるを剥ぎ自ら之れを着けて引きかへす。

戦はいよゝゝ激烈となり、數日にして勝敗決せず。エニヤス乃ちタアナスに向ひて一騎打の決戦を挑むにタアナス應せず。戦は再び繼續して兩軍の勇士交々戦死す。女勇カミラは戦斧を舞はしてトロイ人を打ち取ること數を知らず、甲冑美々しき一將を追ひて馬を飛ばせける折しも、エトラスカンの一卒不意に槍を投じカミラを斃す。この卒また直ちにダイアナ神の矢に中りて死しぬ。かゝる亂軍の中にタアナスはデューノ神の助けによりて連りにトロイの隊を敗りて進みしが遂にエニヤスと

面して決戦す。此の時大神デューノを制して戦に與ることを禁じける程に、タアナスが投槍はエニヤスの楯の爲めに跳ね反され、エニヤスが槍は敵將の楯を貫いてその腿を傷く。ラテンの軍卒來りて之を救はんとし、タアナス亦た降を請ふを、エニヤスそのバラスの帯を纏へるを見るより憤恨心頭より發して遂に之れを斬る。トロイの同盟軍はこゝに全勝を得てエニヤスはラギニヤを娶りやがて王位を嗣ぐ。ラギニヤの生みし子ユーラス(Julus)アルバ、ロンガの地に一市府を開く。即ち後年世界の主權地となりし羅馬なり。或はいふ英國の祖王ブルタスもまたこのエニヤスの孫にして、ブルタスの開きたる新トロイは即ち倫敦なりと。

希臘神話大尾

希臘神話

*"The Greeks and Romans are the only
ancients that never grow old."*

C. J. Waber.

通 俗 世 界 文 學

文學博士 坪内雄藏先生校閱

青年文學諸名家執筆

每篇奏西名畫寫真

版數 葉入

正價 一冊金廿錢

郵稅各六錢

既刊目次

第一編 ミル失樂園物語

第二編 マクベス外二編

第三編 ホーアイリヤツト物語

第四編 水滸傳物語

第五編 同

富山房

第六編 ハムレット外一篇

第七編 マーテルリントク物語

第八編 ヴァイブル物語

第九編 シルレル物語

第十編 ダンテ神曲物語

第十一編 漢楚物語

富山房

出版圖書
總目錄

往復葉書ニテ
御申越次第直
ニ進呈

東京神田裏神保町

合資 富山房

電話 本局三〇三六番

アトリュース (Atreus)334
 アトロポス (Atropos)197, 218
 アビラ (Abyla)58
 アフロヂット (Aphrodite or Venus)4, 17
 アポロー (Apollo)5, 71, 89, 102, 189, 343, 353, 372
 アマゾン (Amazon)57, 351, 384
 アメーゾンス (Amazones)57
 アラキニ (Arachne)67
 アリアドニー (Ariadne)316, 323
 アリース (Ares or Mars)5
 アルクミーナ (Alcmene)55, 189
 アルゴス (Argos)45, 53, 139, 183, 185
 アルシーア (Althea)195, 201, 218
 アルセスチス (Alcestis or Alcestes)103, 112
 アルバ、ロンガ (Alba Longa)387
 「アルファベット」 (Alphabet, the)137, 138
 アルフィーオス (Alpheüs)57
 アワアズ (Hours, the)5
 アヴァナス (Avernus or Averno)373
 アンキシーズ (Anchises)332, 341, 367, 373, 380
 アンチオピー (Antiope)140
 アンチゴネ (Antigone)328
 アンドローゼオス (Androgeos)307, 323
 アンドロマキー (Andromachi)341, 349, 369
 アンドロミーダ (Andromeda)178, 186
 アンフィアレアス (Amphiarus)330

イ

イアピートス (Iapetos)32
 イアベタス (Iapetus)19, 32
 イオー (Io)53
 イーオース (Eos or Aurora)8
 イオルカス (Iolcus)103, 112, 219, 336

イカラス (Icarus)294, 302
 イケリア海 (Icarian Sea)301, 303
 イケリヤス (Icarius)362
 イーサア (Æther, the)16
 イサカ (Ithaca)340, 361
 イーソン (Æson)219
 イーテス (Æetes)224
 イフィグニヤ (Iphigenia)341
 イリアム (Ilium)339
 イリシューム (Elysium, the)377, 378
 イリシヤン、フィールズ (Elysian fields, the)377
 イーリス (Eris)338
 『イリヤッド』 ("Iliad")4, 113, 331, 342

ウ

ウラノス (Uranus)17

エ

エアカス (Æacus)113, 336
 エオラス (Æchus)42, 221, 355, 370
 エオリヤン (種族)42
 エコー (Echo)95
 エシオピヤ地方186
 エジオット (Hesiod)4, 16
 エジヤイナ (Ægina)140, 248, 288
 エージャン海323
 エジユース (Ægeus)247, 288, 306
 エスキユレーピアス (Æsculapius)8, 82, 86, 90
 エストラ (Æthra)249, 288
 エチプト地方52, 180
 エチボス (Ædipus)324
 エテオクリーズ (Eteocrès)330
 エトナ (Mt. Ætna)117

クロノス (Kronos or Sturn)14

ケ

ゲイア (Gaia)17
ケイロン (Charon)113, 375
ケドマス (Cadmus)123, 137, 150, 325
ケドミヤ (Cadmeia)136
ケバニュース (Capaneus)330

コ

コーカサス山 (Mt. Caucasus)29
コーカラス (Cocalus)304
コルキス (Colchis)221
ゴルゴンス (Gorgons, the)97, 160, 173, 186
 कोरोニス (Coronis)82

サ

サアシー (Circe)225, 357
サアシオン (Cereyon)269, 289
サアピードン (Sarpedon)139, 346
サアベラス (Cerberus)60, 113, 149
サイエスチース (Thyestes)334
サイキー (Psyche)140
サイクナス (Cycnus)342
サイクロツプス (Cyclops)15
サイクロピーズ (Cyclopes)12, 15, 355
サイケヤス (Sichæus)370
サイニス (Sinis)261, 289
サイノン (Sinon)353
サイブラス島 (Cyprus)127, 138
サイリオンズ (Sirenes, the)97, 356
サイリンクス (Syrinx)54
サイロス島 (Scyros)340

サタアン (Saturn or Kronos)10, 17, 383
サチルズ (Satyrs, the)44
サナトス (Thanatos)114
サライア (Thalia)7
サロニツク海 (Saronic Sea)247, 288

シ

シクロツプス (Cecrops)237, 246
シーシェース (Theseus)60, 252, 289, 328
シシリー島 (Sicily)115, 300, 302, 373
シーズンズ (Seasons, the)5
シーチス (Thetis)336, 346
シーノー (Stheino)186
シビル (Sibyl, the)372
シープス (Thebes)136, 138
ジブラルタル海峡58
シベリー (Cybele)229
シムプレツガチーズ (Simplegades)228
ジャイアンツ (Giants,)17
ジューサス (Xuthus)42
ジュース (Jeus or Jupiter)3
シラ (Scylla)98, 369
シーリヤ (Schiria)360
シーリーン (Selene)8, 93
シリンクス (Syrinx)54
シールス (Ceres or Demeter)12, 14, 115, 231
シルラ (Schylla)359
シロン (Sciron)265, 289
シンニス (Sinnis)289

ス

スチックス (Styx)337
スチムフラス (Stymphalus)56

エトラスカン(種族)	385
エニ阿斯 (Æneas).....	332, 341, 367
『エニード』 (“Æneid”).....	352, 367, 373
エニユース (Æneus)	60, 195, 218
エバイラス (Epirus).....	369
エピゴニ (“Epigoni”).....	331
エピミシュース (Epimetheus).....	15, 33
エラトー (Erato).....	7
エリシーア (Erythea).....	58
エリダナス (Eridanus).....	305
エリュース (Eleusis).....	269, 289
エレクトラ (Electra).....	332
エレクトリオン (Electryon).....	189
エレメント (Elements, the).....	381
エロー (Aello)	97
エロース (Eros or Cupid).....	6, 146
エヴンダア (Evander).....	384
エンチェリア (Enchelia)	151
エンデミオン (Endymion).....	93
エンナ (Enna)	115

オ

オシアナス (Oceanus).....	92
オシピート (Ocypete).....	97
『オヂツシー』 (“Odyssey”)	4, 113, 338
オヂツシユース (Odysseus or Ulysses)	338
オツサ (Ossa)	14, 78, 90
オライオン (Oryon)	9, 324
オリオン星座.....	324
オリムバス (Olympus or Olumpos).....	1, 3, 5, 41
オリムバス十二神	5, 6
オルフェーズ (Orpheus)	120, 222, 380
オレスチース (Orestes)	355

オーローラ (Aurora or Eos).....	9
オウィッド (Ovid).....	67, 218

カ

カアセイジ (Carthage).....	370
カイミーラス (Chimæras)	374
カイロン (Chiron)	86, 90, 337
カストル (Castor)	222, 320
ガニミード (Ganimede)	332
カミラ (Camilla)	384
カリオペー (Calliope).....	7, 93
カリストー (Callisto)	140
カリドン (Calydon)	60, 195, 218
カリブソー (Calypso)	359
カリブヂス (Charybdis)	359, 369
カルピー (Calpe)	58

キ

ギー (Gæce)	17
キューピッド (Cupid or Eros).....	6, 91, 139, 140

ク

クライオー (Clio)	7
クライチー (Clyte)	92
クラネー.....	239
クラブキャリヤア (Club-carrier or Club-bearer)	260, 289
グリース (Greece).....	40, 127
クリチャ (Clytia or Clytie).....	91
クリート島 (Crete).....	139, 294, 306, 315
クリミーネ (Clymene)	93
グレー (Grae).....	97
グレーセス (Graces, the)	6
クローソー (Clotho)	197, 219

クロノス (Kronos or Sturn)14

ケ

ゲイア (Gaia)17
ケイロン (Charon)113, 375
ケドマス (Cadmus)123, 137, 150, 325
ケドミヤ (Cadmeia)136
ケパニュース (Capaneus)330

コ

コーカサス山 (Mt. Caucasus)29
コーカラス (Cocalus)304
コルキス (Colchis)221
ゴルゴンズ (Gorgons, the)97, 160, 173, 186
 कोरोニス (Coronis)82

サ

サアシー (Circe)225, 357
サアシオン (Cercyon)269, 289
サアピードン (Sarpedon)139, 346
サアベラス (Cerberus)60, 113, 149
サイエスチーズ (Thyestes)334
サイキー (Psyche)140
サイクナス (Cycnus)342
サイクロツプス (Cyclops)15
サイクロピーズ (Cyclopes)12, 15, 355
サイケヤス (Sichæus)370
サイニス (Sinis)261, 289
サイノン (Sinon)353
サイプラス島 (Cyprus)127, 138
サイリオンズ (Sirenes, the)97, 356
サイリンクス (Syrinx)54
サイロス島 (Scyros)340

サタアン (Saturn or Kronos)10, 17, 383
サチルズ (Satyrs, the)44
サナトス (Thanatos)114
サライア (Thalia)7
サロニツク海 (Saronic Sea)247, 288

シ

シクロツプス (Cecrops)237, 246
シーシュース (Theseus)60, 252, 289, 328
シシリー島 (Sicily)115, 300, 302, 373
シーズンズ (Seasons, the)5
シーチス (Thetis)336, 346
シーノー (Stheino)186
シビル (Sibyl, the)372
シープス (Thebes)136, 138
ジブラルタル海峡58
シベリー (Cybele)229
シムプレツガデーズ (Simplegades)228
ジャイアンツ (Giants)17
ジューサス (Xuthus)42
ジュース (Jeus or Jupiter)3
シラ (Scylla)98, 369
シーリヤ (Schiria)360
シーリーン (Selene)8, 93
シリンクス (Syrinx)54
シールス (Ceres or Demeter)12, 14, 115, 231
シルラ (Schylla)359
シロン (Sciron)265, 289
シンニス (Simmis)289

ス

スチックス (Styx)337
スチムファラス (Stymphalus)56

ストレッチャア (*Stretcher*).....275
 スフィンクス (*Sphinx*).....326
 スリナシヤ (*Thrinacia*)359
 スレース (*Thrace*).....57, 368

セ

ゼフィラス (*Zephyrus*).....8, 115, 141
 セミス (*Themis*).....7
 セメリー (*Semele*).....43, 140
 セライフォス (*Seriphos*).....187
 セレノー (*Celeno*)97

ソ

ソフォークリーズ (*Sophocles*)328

タ

ダアダナス (*Dardanus*).....332
 タアナス (*Turnus*).....383
 タアブシコリー (*Terpsichore*).....7
 ダイアナ (*Diana or Artemis*).....6, 71, 84, 201, 311, 386
 ダイオニサス (*Dionysus or Bacchus*)43
 ダイオミーデース (*Diomedes*)57, 337, 355
 タイタンズ (*Titans*).....10, 17, 18
 タイジュース (*Tydeus*).....330
 タイテーネズ (*Titanes*).....14
 ダイドー (*Dido*)370, 376
 タイバア河 (*Tiber*)383
 タイブーン (*Typhon*)370
 タイム (*Time, the*).....16
 タイリンス (*Tiryns*).....185, 186
 ダツフネ (*Daphne*).....76, 90
 ダネー (*Danae*)153, 186
 タンタラス (*Tantalus*).....333

チ

チェイロン (*Cheiron*)149
 チューソン (*Jason*).....219
 チューヌス (*Janus*).....384
 ディオナイス (*Dionysus or Bacchus*)43
 ディスコルス (*Discors*)9
 ディスコルド (*Discord, the*).....374
 地中海.....43
 ディフォバス (*Deiphobus*).....348
 ディューカリオン (*Deucalion*)35, 41
 チュノー (*Juno or Hera*)2, 5, 45, 58, 60, 69, 220
 338, 343, 369, 384
 ジュピター (*Jupiter or Jous*).....1, 3, 12, 20, 35, 45, 72
 139, 150, 154, 246, 338, 344
 ジョーカスタ (*Jocasta*)325
 ディロス (*Delos*).....70, 89, 368

テ

ダイネ (*Danne*)186
 デダラス (*Daedalus*).....186
 デヂャニラ (*Dejanira*)60
 デミーター (*Demeter or Ceres*)14
 テムピー (*Tempe*).....76, 82, 90
 デルファイ (*Delphi*).....42, 76, 128
 テレマカス (*Telemachus*)340, 363

ト

トライトーン (*Triton*)97
 ドーラス (*Dorus*).....42
 ドリヤン (種族).....42
 トロイ (*Troy*)332, 339, 350
 トロス (*Tros*).....332

トロゼン (Troezen).....274, 288

ナ

ナアシツサス (Narcissus)95, 96
ナイト (Night, the)7, 8, 16
ナイル河 (Nile)31, 51
ナウシスース (Nausithoüs)360
ナキソス (Naxos)323

ニ

ニムフ (Nymphs, the)41, 89, 178
ニュー、トロイ (New Troy)387

ネ

ネストル (Nestor) 337, 344, 355
ネプチューン (Neptune or Poseidon)1, 4, 69, 178, 240
303, 371
ネーブルス (Naples)359
ネミーア (Nemea)55
ネメシス (Nemesis)8
ネリーズ (Nereids)186
ネリュース (Neleus)336, 337

ノ

ノーダス (Notus)8

ハ

ハアキュリーズ (Hercules)32, 33, 55, 196, 222
303, 342
バアシュース (Perseus)55, 154, 188
バアセノピー (Parthenope)358
バアセノフェアス (Parthenophaeus)330
バアセフネー (Persephone or Proserpine)112

バアチックス (Perdix)291, 302
バアナッサス (Parnassus)37, 41, 74, 89
バアネズ山脈 (Pernes)272, 289
バアピーズ (Harpies, the)97, 222, 369
ハアモニヤ (Harmonia)136, 138, 150
バイソン (Python)74, 90
ハイドラ (Hydra)56, 374
ハイヤシンサス (Hyacinthus)189
バインベンダア (Pine-bender)289
バツカス (Bacchus or Dionysus)43, 186, 200, 323
バトロクラス (Patroclus)345
バラス、アシーナ (Pallas Athena)333
バラス (Pallas)385
「バラヂュユーム」 ("Palladium")333, 352
パリス (Paris)338, 351
バリニューラス (Palinurus)371, 375
パンドーラ (Pandora)25, 33

ヒ

ビーガサス (Pegasus)187
ピグマリオン (Pygmalion)370
ピットシュース (Pittheus)248, 288
ヒッポダミヤ (Hippodamia)334
ヒッポメドン (Hippomedon)330
ヒッポメニース (Hippomenes)219
ヒッポリタ (Hippolyta)58
ヒービー (Hebe)6, 60
ヒーフュスタス (Hephestus or Vulcan)5
ヒボノス (Hyponos)114
ヒーラ (Hera or Juno)5
ビーラス (Belus)370
ピーリアス (Pelias)103, 112, 219
ヒーリオス (Helios)8, 30, 117

ペーリオス (Pelios).....329
 ピルラ (Pyrrha)35, 41
 ペーロッパス (Pelops).....329, 333

フ

ファミン (*Famine, the*).....233
 フィニシヤ (Phaenicia).....370
 フィニユース (Phineus).....223
 フィロクテテース (Philoctetes)342, 352
 フェーソン (Phaethon)304
 フェーツ (*Fates, the*)7, 196
 フェーバス (Phabus).....89
 フォアボージング (*Foreboding, the*).....28
 フォスフォル (Phosphor)9
 フューリーズ (*Furies, the*)17, 114, 374
 プライアム (Priam)333, 338, 341, 349, 354
 フリクサス (Phrixus)221
 プリーヤヂス (Pleades)324
 ブルタス (Brutus).....387
 プルートル (Pluto or Aidoneus)2, 4, 87
 フレーム (*Flame, the*)381
 プロクラステース (Pocrustes)275, 289
 プロサアビン (Proserpine, Proserpina or Persephone)....
 111, 112, 115, 373
 プロテュース (Proteus)97
 プロテシラウス (Protesilaüs)342
 プロミシュース (Prometheus)19, 35, 50

ヘ

ヘカチー (Hecate).....114, 116
 ヘカトンキリー (Hecatonchires).....15
 ヘクトル (Hector).....341
 ペーシフェー (Pasiphæö).....303

ヘスチャ (Hestia or Vesta).....15
 ヘスバア (Hesper).....9
 ヘスペリデス (Hesperides)59
 ヘスペリヤ (Hesperia)369
 ペニーオス (Penens)57, 77, 90
 ペネロピー (Penelope)340, 362
 ペーノス (Panos).....44
 ヘラ (Hera or Juno).....5
 ヘライアヂース (Heliades)305
 ヘラス (Hellas)40, 41
 ヘラスヂツク (種族)42
 ヘリー (Helle)221
 ペリギューン (Perigune)263, 289
 ヘリコン山 (Mt. Helicon)187
 ペリフェテス (Periphetes).....289
 ペリユース (Peleus)336
 ヘルミース (Hermes or Mercury).....5
 ヘレニース (種族).....40
 ヘレン (Helen)336, 339, 355
 ペーン (Pan)44, 54
 ペンセシリーア (Penthesilea).....351

ホ

ボサイドン (Poseidon or Neptune)4
 ボスフォラス海峡.....53
 ボセイドン (Poseidon or Neptune).....4
 ホー河.....378
 ホーマア (Homer).....4, 15, 381
 ボラックス (Pollux)222, 329
 ボリクセナ (Palyxena)351
 ボリドラス (Polydorus)325
 ボリドール (Polydore)368
 ボリナイシース (Polynices).....330

ポリバス (Polybus)325
ポリヒムニヤ (Polyhymnia)7
ボレアス (Boreas)8, 370

マ

マアキュリー (Mercury or Hermes)2, 5, 25, 38, 47
118, 163, 350, 359
マアズ (Mars or Ares)2, 5, 150, 343
マイノス一世 (Minos I)57, 113, 130, 302, 375
マイノス二世 (Minos II)294, 302, 303, 306
マイラニオン (Meilanion or Milanion)214, 219
マチリヤル (Material, the)381

ミ

ミシーネ (Mycenae)57, 185, 186, 334
ミゼンシューズ (Mezentius)384
ミートラ (Metra)233
ミナアプ (Minerva or Athena)2, 4
ミノテオル (Minotaur)295, 302, 303, 319
ミューズ (Muses, the)5, 7, 187

メ

メガラ (Megara)269, 289, 323
メデア (Medea)225, 284, 289
メチス (Metis)246
メヂューサ (Medusa)159, 175, 187
メネレウス (Menelaus)335, 339, 355
メルポメニー (Melpomene)7
メレーチャア (Melager)60, 196, 206, 218, 222

モ

モスカス (Moschus)138
モロッコ地方58

ユ

ユータアピー (Euterpe)7
ユーフロシニー (Euphrosyne)6
ユーメヤス (Eumaeus)363
ユーラス (Iulus)387
ユーラス (Iurus)8
ユーラニヤ (Urania)7
ユーラノス (Uranus)17
ユーリヂシー (Euridice)120, 186
ユーリッシュューズ (Eurystheus)56, 334
ユリッシーズ (Ulysses or Odysseus)338, 340, 355
ユーローバ (Europa)123, 138, 303
歐羅巴137

ラ

ライアス (Laius)325
ラヴ (Love, the)16
ラウサス (Lausus)385
ラオコーン (Laocoon)353
ラケシス (Lachesis)197, 219
ラダマンサス (Rhadamanthus)113, 139
ラチナス (Latinus)383
ラテン人384
ラトマス (Latmas)93
ラビリンス (Labyrinth, the)302
ラヴィニヤ (Lavinia)383
ラギニヤ (Lavinia)383, 387

リ

リーア (Rhea)17
リース (Letha)386
リーダ (Leda)139

リートー (Leto).....69, 89
リュコシヤ (Leucothea).....92, 360
リゾア、オーシャン (*River-Ocean, the*).....15

レ

レア (Rhea).....17
レストリゴニヤンズ (Læstrygonians)357
レズボス (Lesbos).....122
レートーナ (Latona).....89
レムノス島 (Lemnos).....342

ロ

羅馬.....387

ワ

ヴァジル (Vergil).....352, 367
ヴルカン (Vulcan or Hephæstus).....3, 5, 24, 150, 346

キ

キクトリヤ (Victoria).....9
ギーナス (Venus or Aphrodite).....2, 4, 140, 146, 215
229, 338, 343, 377
キンス (*Winds, the*).....8

エ

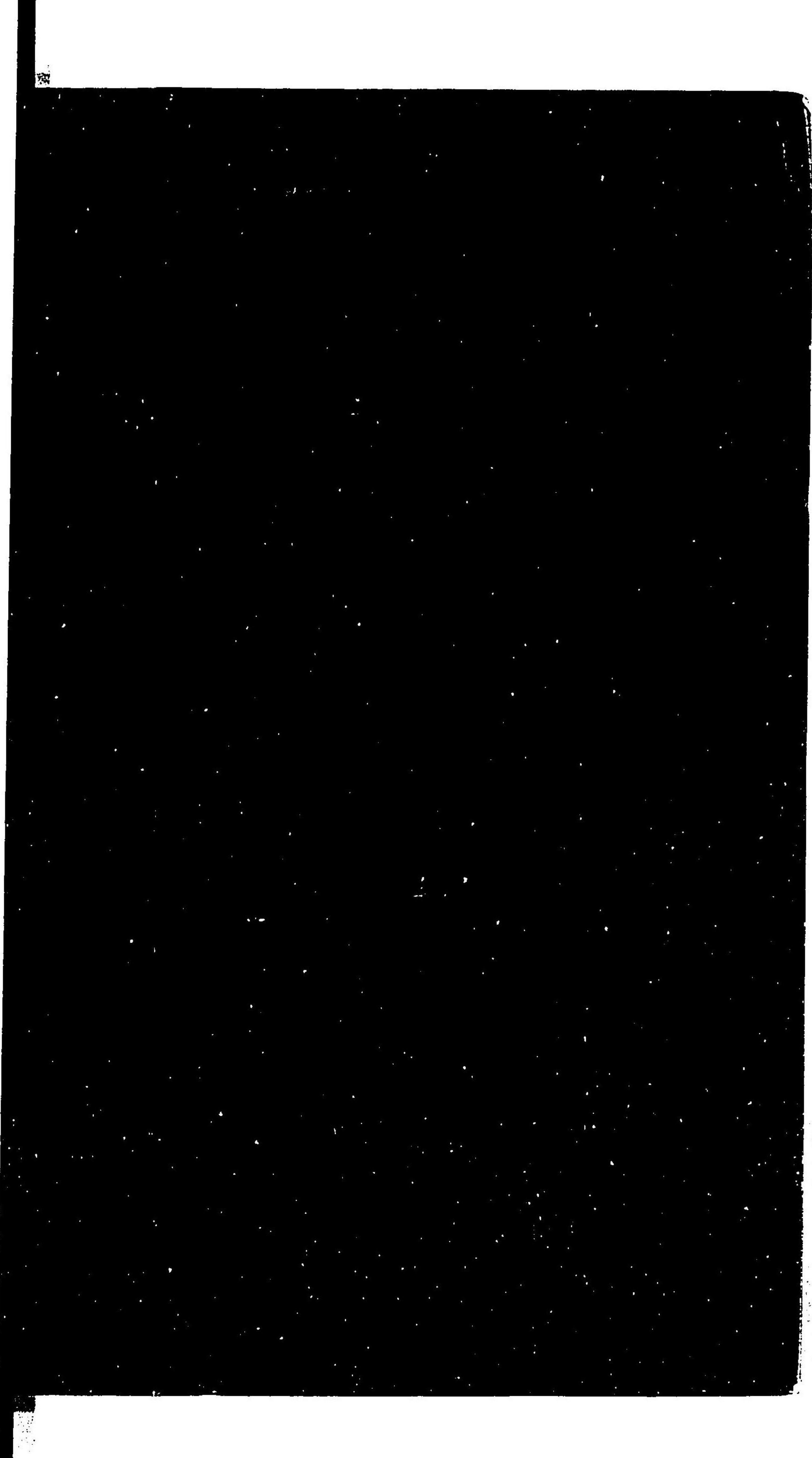
エストタ (Vesta or Hestia).....6, 15
エシューギアス (Vevusius).....373

ヲ

ヲータア、ニムフス (*Water-nymphs, the*).....98

93

328



93
328

013573-000-0

93-328

希臘神話

ジェームス・ボールドキン / 著
杉谷 虎藏 / 訳

M42

ABA-0040



33.12.22